

## 北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
やんぐ★るーきーず		北保健センター			
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	
北区のまちづくりビジョンである、「子育て層が孤立しない地域ぐるみの子育て支援を広げていく」という孤立予防の視点から、主に10代で出産した母親を中心に、22歳までに出産した保護者と乳幼児を対象に、グループにて育児支援を行い、つながりづくり・親の社会性の獲得・安定した子育てが行える基盤づくりをめざす。	年間11回。月1回開催。 ○保護者同士、スタッフを交えた交流：季節行事や軽作業を実施しながらの交流 ○社会性獲得に向けた学習：ライフプランの立て方、子どもへの適切な接し方、健康づくりについて、家族計画について ○保健専門職との個別面談：1対1での対話機会を設定し、言動の振り返りを通して自己表出を行う。	やんぐ★るーきーず参加者数  新規参加者数	延161人  実7組	延102人  実4組	
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
◎ 北区の妊娠届出数は全区の中で最多である。また、子育て世代の転入が多い。若年の母は、世代の差を感じ、子育て交流の場に参加しにくいとの声がある。悩みに寄り添う支援が必要で、孤立予防・虐待予防の視点からも妥当である。	◎ 健康づくりを推進するボランティア等の協力を得て運営・実施することにより、子育て支援にかかわる人材育成の場としても活用している。また保健センターでは、府大との産学官連携人材育成等事業を活用し、若年の母の社会参加を促進するためのサポートをしてきた経過があり、現在も府大准教授の協力を得ている。	◎ どの年代層にも子育てをしやすいまちづくりを行っている北区において、ハイリスクな若年層をターゲットにした子育て支援の取り組みであり、堺市では7区中2区のみ実施している。	○ 孤立しがちな若年の保護者が、子育てに必要な支援をタイムリーに得られている。また、広報紙への掲載やチラシの配付により、若年の保護者が参加しやすい状況で周知している。		
⑤自立発展性		総合評価			
◎ 本事業の参加者の話を、子育て中の母の声として中学生に届け、思春期教育の協力をしている。また、本事業に継続して参加している方は、リーダー的な存在となり、新規参加者に声をかけている。	◎ 気軽に参加でき、悩みや求める情報を共有しやすい場を提供していることで、参加者間の交流が深まっている。本事業に参加することで、地域と接点を持つことができ、孤立感を解消できており、孤立化予防・虐待予防に寄与している。				
今後の方向性(課題・改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	新規参加者の定着が課題である。平成30年度については、参加者の増加・定着を目標に、さらに魅力あるプログラムづくりなど内容を充実させていきたい。また、対象者のみでなく、産科医療機関、小児科などへの案内・区役所情報コーナーへの配付・配架などPR用のリーフレットを活用するなど、発信方法の工夫をしていきたい。さらに、北区交流まつりや子育て関連講演会などへ参加し、「やんぐ★るーきーず」の紹介・案内をするなど、参加者の目線で市民に発信できるものがないかということもひきつづき参加者とともに検討していく。				